

2/2 第5回 学校運営協議会

第5回の会議では、取り組んできた「義務教育9年間で目指す姿」が完成し、その最終的な確認が行われました。小学校1年生から中学校3年生までにつけたい力を段階的に示しています。また、地域の願いについて、学校運営協議会で出し合った意見が盛り込まれました。

後期の学校評価について、児童生徒、先生、保護者によるアンケートを共有し、現状と課題を確認しました。「子どもたちの人を思いやる気持ちなど、心の育ちをしっかりと見取っていけるとよい」「小学校と中学校の評価アンケートの項目がバラバラなので共通項目を検討しては、9年間の目指す姿とのリンクを」などの意見がありました。最後に、今年度に行った、地域学校協働活動について、小学校からはクラブ活動等の地域講師の協力で様々な活動を行った報告、中学校からは、総合的な学習の時間やキャリア教育で地域ゲストを招いた報告がありました。



3/8 第6回 学校運営協議会を開催しました

今年度の最後の会議では、来年度の小学校、中学校の学校経営方針の説明とその承認が行われました。学校経営方針の承認は、学校運営協議会の中でも最も重要なことの一つです。小・中各部会で部屋を分かれ、オンラインでの参加も可能にすることで、感染症対策をしながら、多くの委員の皆さんに参加いただき、活発な意見や質疑が行われました。「不登校や特別支援のことなど、親としても学ばなくてはいけないことが多い。PTAとしても勉強会など開催できれば」という委員の発言に対し、「教育委員会が開催した特別支援の勉強会など既存の学びの場に保護者の皆様にも来てもらう方法もある」などの意見が交わされました。学校の現状を知り、保護者も地域も子どもたちのために何ができるのかと、来年度に向けて知恵を出し合う時間となりました。



2/23 第1回 地域共育ミーティングを開催しました

下川町の子どもたちの姿を共有し、気軽に声をかけあい、連携し合える関係をつくることを目的に初めて開催しました。スタッフも含め30人で行われ、幼小中高の先生、地域で子どもたちに関わる団体等が参加。グループに分かれ、前半は、総合学習や子ども向けプログラムなどの活動紹介を行い、後半は、参加者から出された問いから選択し、テーマに沿って子どもたちの現状や課題、解決アイデアなどを話し合いました。



PTAって何だい？
前例踏襲ではなく地域の人
とも関わりPTA活動も
進めるにはどうしたら...

保護者同士が
気軽に話し合える
機会をつくるには

子どもたちが健やかに
元気なからだの
基盤を作るための
学校と地域でできる
環境づくりとは？

活動始めに目標やスローガンを作ると、本当にみんながやりたいことに向かって活動がしやすいのかも。保護者が楽しみながらやることや、地域の人の参加も募っていくと活動が活発化したり、参加する層が広がったりするかも！

子育ての悩みを周囲に相談しにくいこともある。研修や講演会だけで終わらずに、そのあとに参加者同士が話をする時間を作ったりするのもいい。趣味のつながりなど、気軽な関係性をつくっていく中で、ちょっとした悩みが解決したりと気持ちが楽になることもあるかも。

子どもは、「遊びたい、体を動かしたい」と思っても、「危ない」などの理由で大人が蓋をしていることが多い。成功しか褒めてもらえないという気持ちがあって、極端に失敗を恐れている子ども…子どもたちがのびのび体を動かす機会を地域の大人で見守れるといい

放課後の
子どもたちの時間を
豊かなものにするには？
まなびバリストの活用アイデア
について

職業や役職にとられずに
子ども中心にざっくばらに
話し合える関係を作るには、

参加者の感想

自分が思っているよりずっと、地域の人が子どもたちや学校を気にしてみている事がわかりました

各機関の方々が周囲の情報やアイデアを欲していることがわかりました。このミーティングをきっかけに常時連絡を取り合える関係を多く築けたら嬉しいです。

本日は大きな第一歩だと思う。今回話すことができない人もいたので、また開催してほしいです。できれば定期的に！

子どもたちが自分で放課後の過ごし方を選択できることが豊かさにつながるのではないかと自分の好きなことを見つけ、好きなことで、地域や社会とつながっていけるといいね。まなびバリストを子どもたちもそして先生、親も活用していこう

飲み会の機会がなくなり、職場内でも外でもつながる機会が減ってしまいました…いろんな立場の人とつながって、子どもたちについて話せたらいい。大人数では難しくても4人ずつとかでも。夏に美桑が丘でBBQなどできたらいいですね！

令和4年度 下川中学校グランドデザイン

